

日本臨床検査医学会 2019 年度 第 1 回 臨床検査専門医・管理医審議会 議事録

日時：2019 年 6 月 29 日（土）10：30～12：00

場所：日本臨床検査医学会 事務所

出席者（10 名）

矢富 裕（委員長）

山田俊幸（副委員長）

村上正巳（研修施設・指導者認定委員長，Subspecialty 検討小委員会委員長）

菊池春人（受験・更新資格審査委員長）

宮地勇人（試験委員会委員長）

木村 聡（臨床検査専門医制度検討委員長）

古川泰司（2018・2019 年度 臨床検査専門医試験実行委員長）

東田修二（2018・2019 年度 臨床検査管理医試験実行委員長）

佐藤尚武（日本臨床検査専門医会代表）

橋口照人（教育委員長）

矢富裕委員長より開会宣言の後、議事を進行した。

1. 研修施設・指導者認定委員会報告（村上正巳 委員長）

1) 2019 年 7 月 1 日付再認定について

再認定申請 {1 施設（前回 認定 2 年 1 施設）} があり、認定病院、2 年として承認された。

2) 再認定申請不要の施設について

2018 年 4 月以降、日本専門医機構 新専門医制度による研修が開始され、日本臨床検査医学会臨床検査専門医卒後研修による研修開始はないため、2018 年 4 月以前に学会専門医卒後研修を開始し、現在も継続して学会専門医の受験を目指している研修者がいる施設が申請の対象となる。ただし、この場合でも日本専門医機構基幹施設に認定されている場合は、学会専門医卒後研修登録も兼ねるとみなされ申請は不要である。本件を該当の施設に通知し、再認定が必要か不要かの問合せをした。その結果、10 施設のうち 9 施設は申請不要であったことが報告された。

2. 受験・更新資格審査委員会報告（菊池春人 受験・更新資格審査 委員長）

1) 第 36 回臨床検査専門医受験者 資格審査結果について

受験・更新審査委員会の審査結果に基づき新規受験希望者 31 名について審議され、30 名の受験資格が承認された。

- ・1 名は研究業績を満たしていないため受験資格を有しないと判定された。なお、納入された受験料は返金しないが、次年度以降、再度、受験料の納入不要で受験可能となった。
- ・1 名は卒後研修登録票を今年 4 月に提出したが、指導責任者欄にサインした先生が当時の指導責任者でないことについて審議され、卒後研修登録票を提出することが規定にはないため受験資格を認めることとなった。

2) 第 11 回臨床検査管理医受験者 受験資格審査結果について

受験・更新審査委員会の審査結果に基づき審議され、受験希望者 34 名は、全員受験資格要件を満たしており、受験資格ありと承認された。

3) 臨床検査管理医 受験資格の一部改定について

臨床検査管理医の受験資格の会員歴について、事務手続き上、支障があることにより、出願時会員であることを、願書請求時会員であることと改定することが提案され、承認された。

3. 試験委員会報告（宮地勇人 試験委員会 委員長）

2019 年 3 月 2 日、4 月 6 日に開催された試験委員会・試験実行委員会の議事録が提示され、専門医お

よび管理医試験の 2019 年度の専門医試験出題基準、出題範囲の公示、出題方針、問題のブラッシュアップ、筆記試験、実地試験、合格基準、試験問題の公開等について協議したことが報告された。

- ・現制度の専門医試験は 2020 年度が最後であるが、不合格者、あるいは事情があり受験不可の方などの救済として、最長 2025 年度まで継続可能とする。
- ・2021 年度からは、日本専門医機構臨床検査専門医の試験が開始されるが、カリキュラム制、プログラム制研修があるため両者は同じ試験での受験とし、合格基準は今後、検討する。
- ・遺伝子関連検査の科目を独立させることについて協議し承認され、他の科目との調整を試験委員会で検討することとなった。
- ・2018 年度から、過去の試験問題 MCQ 問題 5 題を臨床病理誌に公開しているが、2019 年度からは、これに加えて、過去の記述式問題を改変のうえ 8 月の試験前に公開することが承認された。
- ・合否基準について報告され確認がなされた。そのうち、不合格の場合、合格基準を満たした科目については、科目合格とし、再受験は残りの科目のみとすること、その有効期限は受験年度を含めて 5 年間とすることが承認された。
- ・サブスペシャリティ資格の設置、更新のため研修プログラムについては、該当する委員会で検討することとなった。

4. 第 36 回臨床検査専門医認定試験 試験実行委員会報告（古川泰司 試験実行委員会 委員長）

第 36 回専門医認定試験は、2019 年 8 月 3 日（土）、4 日（日）に、帝京大学板橋キャンパスで実施予定である。3 月 2 日と 4 月 6 日に第 1 回と第 2 回試験委員会・試験実行委員会合同会議開催後、第 3 回～5 回の実行委員会会議（5/18、5/25、6/22）を学会事務所、帝京大学で開催した。今後、現地確認を 3 回（7/6、7/20、7/27）予定していることが報告された。

5. 第 11 回臨床検査管理医講習・認定試験 試験実行委員会報告（東田修二 試験実行委員会 委員長）

第 11 回臨床検査管理医講習・認定試験 認定試験実施要領、当日のプログラムが示され、専門医試験と同時、同会場で 2019 年 8 月 4 日（日）に、帝京大学板橋キャンパスにおいて実施予定であり、34 名の受験者であることが報告された。

6. 教育委員会報告（橋口照人 委員長）

6 月 22 日、第 75 回関東・甲信越支部総会に合わせて RCPC を実施したこと、8 月 18 日に東京大学でワークライフバランス委員会と共催で第 3 回ハンズオンセミナーを開催予定であること、また、第 66 回学術集会（岡山）で RCPC、Catch up セミナーを開催予定であり、本企画は e-learning とする予定であることが報告された。

10 月 5 日、日本臨床検査自動化学会第 51 回大会と同日開催で、第 31 回関東・甲信越支部総会が開催されるのに先立ち RCPC を開催する予定だが、これは関東・甲信越支部主催ではなく教育委員会主催であることを関東・甲信越支部総会の総会長に理解を求め、そして、自動化学会と当会教育委員会の共催とする了承を日本臨床検査自動化学会に得ることとなった。

7. 第 37 回臨床検査専門医試験・第 12 回臨床検査管理医試験実施日、会場について（矢富 裕 委員長）

第 37 回専門医試験、第 12 回管理医試験は、例年であれば 2020 年 8 月初旬となるが、この期間は東京オリンピックと重なり、移動、宿泊が困難になると予想される。そのため、開催時期と会場については、7 月初旬に東京ということで、東田修二専門医試験実行委員長中心にご検討いただくこととなった。

8. 2020・2021年度試験委員会 委員長について（矢富 裕 委員長）

2019年度専門医試験終了後、直ちに、2020年度試験に関する検討が始動するため、2020・2021年度試験委員会委員長は、早い時期に決定しておくべきとなり、現委員長の宮地勇人先生から、山田俊幸先生へ交代することが再確認され、承認された。

9. 監事からの提案：臨床検査管理医受験料・登録料を専門医同額にすることについて（矢富 裕 委員長）

2019年度第1回理事会において、監事より、臨床検査管理医受験料と登録料を臨床検査専門医と同額にする提案があり、臨床検査専門医・管理医審議会でも検討することとなっていたことについて協議し、管理医より専門医試験コストが、はるかに膨大であるため、現状維持とするのが妥当となった。

10. 新専門医制度関連事項について（山田俊幸 専門医担当理事）

2020年4月専門研修開始予定のプログラム関連のスケジュールについて報告された。専門研修プログラムの新規と修正の申請は、今年からシステム上で登録し審査することになった。なお、9月末に専攻医登録開始の予定である。

11. 名誉臨床検査専門医申請者について（矢富 裕 委員長、山田俊幸 専門医担当理事）

2019年1月1日付更新該当者、それ以前の更新該当者で保留、未提出であり、名誉臨床検査専門医申請の有資格者（49名）のうち25名から申請があり、全員、2019年1月1日に遡り、認定することが承認された。

12. その他（矢富 裕 委員長）

・2019年度臨床検査専門医・管理医審議会日程予定

2019年度の今後の開催日程の確認がなされた。

第2回：8月31日（土）10：30～12：00 学会事務所

第3回：12月20日（金）13：00～14：30 学会事務所